

受講生各位

受講案内

- 集 合 各直属教会信者詰所で受付票を受け取り、3月3日正午から12時30分までの間に受付票で指示された場所（下記宿舍いずれか）にて受付をしてください。
※3月3日の昼食は用意しておりませんので、各自で済ませて集合してください。
※受付時に学生証を確認します。提示のない場合は受講できません。
- 宿 舎 第38母屋、敷島詰所、高安詰所、高知詰所
- 受講御供 8,000円（詰所へ納入してください）
- 携 行 品
- ・ 受付票 ・ ハッピー（ひも付き又は帯を持参） ・ おつとめの扇（2回目以上参加の学生のみ）
 - ・ にをいがけにふさわしい服装 ・ ひのきしん用のズボン（男女共）
 - ・ 運動靴（期間中、長時間歩くプログラムもありますので履き慣れたものを用意する）
 - ・ 筆記具 ・ 防寒着 ・ 雨傘 ・ 洗面具
 - ・ 同封の修練、選択講義記入用紙（必要事項を記入し受付時に提出）
 - ・ **学生証** ・ **保険証（コピー可）**
- ※傘を忘れた場合は購入していただきます。
※憩の家受診歴のある方は診察券を持参してください。
※薬（頭痛薬、便秘薬、生理痛薬、酔い止め、吸入薬等）を常用している方は、必ず持参してください。
※宿舍内は非常に乾燥しますので、必ずマスクを持参してください。
- 服 装
- ・ 期間中はハッピーを着用します。
 - ・ 履物は男女共、靴に限ります。（サンダル、下駄等は禁止）
- 修練・講義 別紙【修練について】、【選択講義について】を熟読し必要事項を用紙に記入の上、3月3日受付時に提出してください。
※裏面も必ずご覧ください

□別席 別席を運ぶ方は、席札を持参してください。尚、初席者は所属の教会を通して事前に必要な手続きを済ませ、願書を持参してください。 ※初席者は「別席の誓いの言葉」を必ず覚えてきてください。

□解散 3月9日午前10時頃（解散場所は各宿舎）

□留意点

- ・全日程を通して受講すること。期間中の外出は認めません。
- ・予め帰途の乗車券を準備しておいてください。
- ・飲食物の持ち込みは出来ません。※期間中は禁酒
- ・20才未満の方は法律で定められている通り喫煙は出来ません。
- ・面会にあたっての差し入れは受け付けません。
- ・期間中、感染性疾患と診断された場合は自宅療養（詰所療養）を指示されています。その際、迎への事やその後の対応については、個別に相談いたします。
- ・期間中の映像や写真は、印刷物及びインターネットを通じた広報に使用することがありますのでご了承ください。

※何らかの事情で不参加、又は受付に間に合わない場合は、必ず事前に学生担当委員会まで連絡してください。

連絡先

<2月28日まで>○学生生徒修養会事務局：0743-63-2489

<3月1日～9日>○学生生徒修養会総務（2母屋）：0743-63-2489

○各宿舎 0743-63-1511（代表）

みのり塾（38母屋）：内線4130 まこと塾（高知詰所）：内線4121

つなぎ塾（38母屋）：内線4117 いさみ塾（敷島詰所）：内線4123

よふき塾（高安詰所）：内線4565

午後5時から午前7時までの電話について

教会本部交換台の時間外になりますので、内線番号にかける場合は、お手数ですが以下の手順でおかけください。

1、0743-63-2511に電話をする。

3、上記の内線番号を入力する。

2、コール音が2、3回鳴った後に通話中の音に変わるのを待つ。

4、コール音が鳴り、目的の塾につながる。

天理市守目堂町 213-4 おやさとやかた真南棟 3階

〒632-8790 天理郵便局私書箱1号

天理教学生担当委員会

立教 180 年 2 月 15 日

受講生各位

天理教学生担当委員会

立教 180 年 学生生徒修養会 大学の部
みのり塾「月次祭まなび」におけるおつとめ衣持参のお願い

この度は、「立教 180 年 学生生徒修養会 大学の部」に申込みをいただき、誠にありがとうございます。

さて、貴方が入塾するみのり塾（3 回以上参加、または 2 回目の 4 年生以上の受講生）では、おつとめ衣を着用して月次祭まなびを勤めさせていただきます。

所属教会の会長様ともご相談いただき、おつとめ衣をご持参ください。

【持ち物】

男子

おつとめ衣一式、白足袋 ※履き物は不要

女子

おつとめ衣一式（小物も含む）、白足袋 ※履き物は不要

受講生各位

立教 180 年 学生生徒修養会 大学の部

救護係からのお願い

学生生徒修養会 大学の部受講に際して、下に留意事項を記します。
受講生一人ひとりにとって、有意義な学修となるように遵守ください。

■持参品について

- ・マスク
- ・常備薬（頭痛薬、便秘薬、吸入薬など）
- ・保険証
 - ※憩の家(天理よろづ相談所病院)に限りコピー可
- ・憩の家(天理よろづ相談所病院)診察券
 - ※受診経験者のみ

受講前、体調に問題がなくても、期間中は慣れない環境のため、体調を崩す可能性があります。常備薬を忘れて服用に困る受講生が毎年いますので、各自で事前に準備しておいてください。また、インフルエンザ流行の時期でもあり、マスクは必ず持参してください。

保険証を提示せずに病院で受診すると、治療費は全額負担となります。受診した時、困りますので、「自分は大丈夫。」と思わずに必ず持参してください。

保険証のコピーを用意される場合は、文字や番号がはっきり写っているものを用意してください。

■体調管理について

「学修に来る前から調子が悪く、学修が始まってから段々と悪化してきました。」という受講生が毎年います。救護所には応急処置ができる程度の備えしかありませんので、事前に病院で処置してもらえることは、学修へ来るまでに済ませておいてください。

修練について

3月4・5日（期間中2・3日目）に修練を行います。

下の科目の中から選択し、必要事項を記入の上、受付時にご提出ください。

- | | |
|---------------------------------|----------------|
| 1 基礎コース
(座りづとめ、よろづよ八首及び打ちもの) | 7 女鳴物（三味線）：初心者 |
| 2 てをどり前半（よろづよ八首～六下り目） | 8 女鳴物（三味線） |
| 3 てをどり後半（七下り目～十二下り目） | 9 女鳴物（胡弓）：初心者 |
| 4 男鳴物（笛） | 10 女鳴物（胡弓） |
| 5 男鳴物（小鼓） | 11 女鳴物調絃 |
| 6 女鳴物（琴） | 12 祭儀式 |

※女子は男鳴物を選択できますが、男子は女鳴物・女鳴物調絃を選択できません。

※女鳴物調絃は琴・三味線・胡弓いずれもできる方に限ります。

※琴及び女鳴物調絃を希望する方は琴の爪をご持参ください。

選択講義について

3月5日（期間中3日目）に選択講義を行います。

部屋の収容人員の関係で第3希望まで記入の上、受付時に提出してください。（必ずしも第1希望になるとは限りませんので、この旨ご了承ください）

▽5日選択講義

講義60分+Q&A30分

1. 「おつとめは素晴らしい」

講師 ^{そたに よしき} 曾谷 吉喜 先生(船場大教会・揖保分教会長)

天理教で最も大切といわれるおつとめ。その大切さを私達は本当にわかっているだろうか。学生時代に道一条を決断し、暗中模索の中から信仰のありがたさに気づいた体験や、教会焼失という大きな節を乗り越えて歩んできた道すがらを熱く語り、教祖が教えてくださったおつとめの素晴らしさを伝える。

2. 「教祖に導かれて」

講師 ^{やまだ みつこ} 山田 ジョアン光子 先生(甲賀大教会長夫人)

私たちは、進路に悩んだとき、どうやって道を選べばいいのだろうか。アメリカで生まれ育った講師は、今、文化の違いを乗り越えながら、日本で教会長夫人をしている。そこにいたる道のりは決して平坦ではなかった。不思議な出会い。不思議なタイミング。今思えば、すべて教祖のお導きであった。自分の思いを中心に歩む人生と、教祖のぬくもりを感じながらをやかに導かれる人生の違いを講師に語ってもらう。

3. 「世界に通じる教え」

講師 ^{もり ようめい} 森 洋明 先生(明城大教会・明三十七分教会教人、天理大学おやさと研究所所員)

海外にもお道を広めたい。そんな熱い学生が今、求められている。天理大学卒業後、コンゴ共和国コンゴブラザビル教会に3年間赴任する。その後も毎年コンゴに赴き、教義講習会の講師として活躍している。自身の体験を通して感じた海外にお道を広げる喜び、また世界に通じる天理教を海外の視点から熱く語ってもらう。

4. 「医師が見た神の世界」

講師 ^{なかむら ゆきこ} 中村 由貴子 先生(尾道分教会・烏帽子岳分教会長)

医学が進歩したら、信仰はいらなくなるのだろうか。医療の世界で生きてきた講師が、医療では及ばない領域を見たとき、目の前に信仰の世界が開けた。神の存在を知り、道一条の人生を歩み始めた講師に、医学が進歩したからこそ分かる信仰の世界を語ってもらう。

5. 「信仰生活が君を育てる」

講師 ^{たてかわ おさむ} 立川 理 先生(飾東大教会・但八分教会・みちのり布教所長、天理教校寮寮長)

勉強、バイト、遊び。忙しい学生生活の中で、どうすれば信仰は身についていくのだろうか。講師は長年おちばで学ぶ学生達と寮生活を共にし、信仰を伝えてきた。その体験をもとに、日常生活の中でどのように信仰を活かすべきかを伝える。父親として、息子達を信仰者に育て上げた今もなお、自らの信仰のあり方を探求している。（息子達は現在ラグビー界で活躍中）

班

選択修練・講義記入用紙

※班は受付時に
スタッフが記入

ふりがな _____

氏 名 _____

性 別 男・女

選択修練

- | | |
|-----------------------------|--------------------------|
| 1 基礎コース(座りづとめ、よろづよ八首及び打ちもの) | 11 女鳴物調絃 ※女子のみ、三曲できる、琴の爪 |
| 2 てをどり前半(よろづよ八首～六下り目) | 12 祭儀式 |
| 3 てをどり後半(七下り目～十二下り目) | |
| 4 男鳴物(笛) | |
| 5 男鳴物(小鼓) | |
| 6 女鳴物(琴) ※女子のみ、琴の爪 | |
| 7 女鳴物(三味線):初心者 ※女子のみ | |
| 8 女鳴物(三味線) ※女子のみ | |
| 9 女鳴物(胡弓):初心者 ※女子のみ | |
| 10 女鳴物(胡弓) ※女子のみ | |

※希望する科目(番号)を
記入して下さい。

※忘れ物など

(塾にて記入)

第1希望	
第2希望	
第3希望	

選択講義

- 「おつとめは素晴らしい」
- 「教祖に導かれて」
- 「世界に通じる教え」
- 「医師が見た神の世界」
- 「信仰生活が君を育てる」

※希望する講義(番号)を
記入して下さい。

第1希望	
第2希望	

※3月3日受付時に、受付票と一緒にご提出ください。